

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ケーズデンキ遠里小野店	階数	地上 1 F
建設地	堺市堺区遠里小野町一丁25番2 他	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	30 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,640 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2020年10月27日
敷地面積	10,480 m ²	作成者	高島邦嘉
建築面積	4,609 m ²	確認日	2020年10月27日
延床面積	4,510 m ²	確認者	高島邦嘉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
本物件は、堺市堺区に計画される物販店舗である。節水器具や高効率機器の採用により、建物の使用エネルギー低減へ配慮した計画としている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・冬期の室温設定について配慮している。 ・全面的に規制対象外及びF☆☆☆☆の材料を使用している。	・空間の形状にゆとりを設け、自由さを確保している。 ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。	・周囲の街並みに調和させている。 ・建物、敷地の植栽条件に合わせた適切な緑地づくりに努めている。 ・広場を設置して地域アメニティ向上に貢献している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率機器を採用し、敷地内のエネルギー使用量の削減に貢献している。	・節水器具を採用している。 ・内装材にリサイクル資材を使用している。	・燃焼設備の採用を避け、大気汚染防止に配慮している。 ・敷地外への熱的影響を低減するように配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称) ケーズデンキ遠里小野店	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区遠里小野町一丁25番2 他8筆	1	B+
	主用途/延床面積	物販店 / 4,510.38 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	■■■■●
みどり・ヒートアイランド対策	2	■■●●●
エネルギー削減	4	■■■■●
建物の断熱性	3	■■■●●
安全快適な暮らし	3	■■■●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.8	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		2.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	4	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.8
建物の断熱性	評価項目	スコア	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.1
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		3.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		3.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	—	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	